

活動2 不法投棄から下妻を守る

「ごみの不法投棄は絶対に許しません」



山林に不法投棄されたタイヤ

心無い人によるごみの不法投棄が後を絶ちません。人の目が届かないところを狙って、家電製品や

タイヤなど、処理に困ったものを捨ててしまう人がいるのです。不法投棄は、自然と生活の環境を破壊し、人の心を踏みにじる行為です。市では、平成25年度に36件の不法投棄が確認され、これらを回収・処分しています。不法投棄されたごみが新たなごみを呼ぶことや、ごみを除去してもまた捨てられることもあり、不法投棄が後を絶たないのが現状です。

不法防止に向けた市民協働の取り組み
①市民の生活目線で監視
「下妻市ボランティア監視員」

市では、ごみの不法投棄に対応するため、市民の生活目線で監視する「下妻市ボランティア監視員」を市民に募集・委嘱し、監視体制を強化しています。「下妻市ボランティア監視員」は、平成26年5月現在で29名が活躍し、地域で自主的にパトロールを実施し、不法投棄等の現場を目撃したり、不法投棄された廃棄物を発見した場合に市や警察へ連絡すること、不法投棄等の早期発見・早期対応に努め、成果を上げています。

「通報」を
次のような行為を見かけたら、時間、場所、投棄物、車両ナンバーや色・形状などの特徴、投棄者の特徴などを、すぐに「通報」してください。
自分で注意したり、声をかけたりするのは危険な場合があります。まずは「通報」にご協力ください。

地域のみんで協力して美しい街を



下妻市ボランティア監視員 松崎 忠夫さん

毎朝、地域の不法投棄の見まわりに行っています。近所の人から、不法投棄の情報ももらうこともあり、やりがいのある仕事です。一人ではできないことも、近所のみんで心がけることで、以前よりきれいになってきたと思います。



上空から監視するヘリコプター

平成23年4月からは、監視体制をより強化するために、高道祖地区の下妻ヘリポート内にあるヘリコプター操縦士訓練会社「株式会社アルファエアビエーション」の協力で、地上から見えにくい場所に目配りができる、上空からのパトロール

①不法投棄が行われている
②不法投棄が行われようとしている
③不法投棄をして逃げていった
【不法投棄110番】
フリーダイヤル
0120-536-380
・下妻警察署 ☎43-0110
・県西市民センター環境・保安課 ☎24-9127
・市生活環境課 ☎43-2111（内線1422）

平成26年春の栄典者 受章おめでとうございます

平成26年春の叙勲において、下妻市からは、瑞宝双光章に1人、瑞宝単光章に2人、高齢者叙勲の瑞宝双光章に1人の計4人の方々が栄誉に輝きました。受章された皆さんを紹介します。

瑞宝双光章



山本 恭一さん
元茨城県警察 警部
(71歳・下妻乙・栗山)

昭和36年に鹿島警察署（現・鹿嶋警察署）地域課に警察官として勤務以来、主に交番に勤務し、地域の安全と治安を守り、平成15年3月に下館警察署（現・筑西警察署）の警部として退職までの42年間を警察官として務められました。「皆さんのご協力によって、無事に務めあげることができました。心から感謝いたします」。

瑞宝単光章



中山 宗治さん
元関東鉄道 水海道駅管区 水海道駅長
(64歳・下田)

昭和45年に関東鉄道に入社。「安全輸送を第一」として鉄道業務に従事し、平成20年には常総線運転司令室司令長として国土交通大臣賞を受賞。平成22年3月に水海道駅管区水海道駅長として退職までの40年間を鉄道業務一筋で務めました。「家族の支え、職場の方々の協力があればこそこの受章です。皆さまに感謝いたします」。

瑞宝双光章
(高齢者叙勲)



加倉井 清さん
元市議会議員
元公立学校教頭
(88歳・小島)

昭和62年から下妻市議会議員を3期12年にわたり務め、在任中は文教厚生委員会及び建設委員会の委員長を歴任し、市政発展の原動力として多大な貢献をされました。昭和59年から昭和62年まで八千代東中学校で教頭を務め、教育者として心血を注ぎました。「市民の皆さまのご理解ご協力を得ての、この度の受章に感謝いたします」。

瑞宝単光章



平石 廣重さん
元陸上自衛隊 技官
(62歳・江)

昭和43年に陸上自衛隊に入隊して以来、関東補給処古河支処の整備部で各種機材・部品の製作などを主な職務とし、平成24年3月に同処の防衛技官として退職までの44年間を技官として務められました。「この度の受章は、身に余る光栄です。良き上司、良き同僚に支えられ、最愛の妻の協力があったのものと感謝いたします」。

有料広告欄